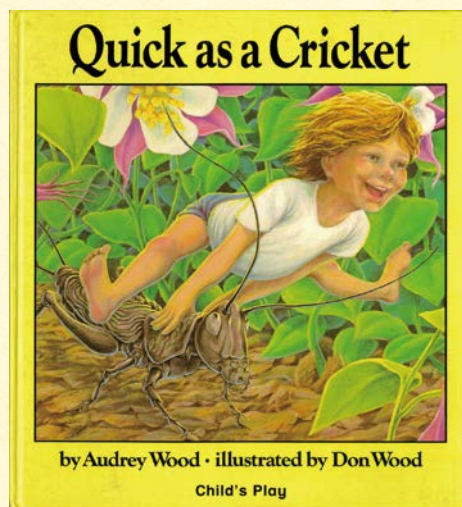


子どものための BOOK GUIDE

—14—



Quick as a Cricket

著者: Audrey Wood

イラスト: Don Wood

出版社: Child's Play

今

回は as ~ as... (同等比較) を使って遊んでみましたという絵本を紹介します。どのページも男の子の絵に I'm as ~ as... という文がそえられています。

たとえば、as happy as a lark、as mean as a shark、as weak as a kitten、as loud as a lion、as tough as a rhino、as gentle as a lamb といった感じ。どれも絵を見ればすぐに意味がわかります。とくに as strong as an ox や as busy as a bee は英語の決まり文句ですね。

おもしろいのは、I'm as sad as a basset. 男の子がバセット犬を抱いて泣いている絵が描かれています。たしかに、大きい耳のたれたバセット犬の細長い顔は悲しそう見えます。あと、I'm as tame as a poodle. ここではテーブルをはさんだ男の子とプードル犬の絵。カップを手に持った男の子は白いシャツにネクタイ。ちょっと「上品」な感じ。頭にピンクのリボンを結んだプードルはピンクのソファの上にちょこんと座っています。

この絵本で少し説明が必要なものがふたつ。ひとつは I'm as cold as a toad. 手前の石の上には大きなカエル、むこうには岩の上に体を丸めてしゃがんでいる男の子が描かれています。つまり、カエルは触ると「冷たい」ので cold、ぼくは「寒い」ので cold。

もうひとつ、I'm as hot as a fox. これも文だけではわかりません。ここでは、ぼくとキツネの絵が描かれているのですが、背景は「キツネ狩り: 騎乗の狩り手たちが一団の猟犬に導かれてキツネを追う英国古来の貴族的スポーツ」(『ランダムハウス英和大辞典』)。訳せば、「ぼくは追われてきたキツネみたいに暑い」。

as ~ as... の使い方を知って、遊んで、英語と日本語のちょっとした違いも学べるという実用的な絵本なのです。しかしなにより、エンディングが素晴らしい! 男の子が自分の部屋の壁に貼った、いろんな虫や動物の写真を見ながら、Put it all together (これをみんないっしょにすると)——次のページに And you've got ME!

金原瑞人

かねはら・みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。

訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど600点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『Here We Go!』(光村図書)の編集委員を務める。